

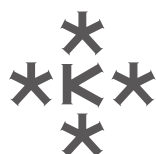
2023 年度 4 月入学

大学院入学試験要項

経済学研究科

目 次

経済学研究科 経済学専攻 3つのポリシー	1
1. 募集人員・入試日程	2
2. 時間割・配点	2
3. 試験場	2
4. 出願	
(1) 出願方法	2
(2) 出願書類	3～4
(3) 検定料	4
(4) 出願時の注意事項	4
受験および就学上の配慮について	5
個別入学資格審査について	5
5. 選考	
博士前期課程	
一般入試	
(研究コース・税理士養成コース・ベーシックコース)	6
学内特別入試	
(研究コース・税理士養成コース)	7
飛び級入試(春季のみ)	
(研究コース・税理士養成コース)	8
社会人入試	
(研究コース・ベーシックコース)	9
外国人留学生入試	
(研究コース)	10
博士後期課程	
一般入試	11
外国人留学生入試	11
社会人入試	12
6. 受験上の注意	12
7. 志願票記入見本および注意事項	13
8. 合格発表	14
9. 入学手続	14
10. 入学金、学費および諸会費(委託徴収金)	15
11. 奨学金制度	15
12. 志願者の個人情報保護について	15
13. 入試情報開示について	16
本学への道順	



■ 経済学研究科 経済学専攻 3つのポリシー

博士前期課程

I ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

研究コース、税理士養成コース、ベーシックコースからなり、修了に必要な要件(※)を満たし、修士論文あるいは課題研究レポートの審査および最終試験に合格し、以下の要件を満たした者に、修士(経済学)の学位を授与します。

●研究コースにあつては、経済学あるいは地域政策の専門知識を備え(DP1)、研究に必要な分析能力を身につけている(DP2)。

●税理士養成コースにあつては、財政学や税法の専門知識を活かし(DP1)、税理士として社会に貢献できる(DP2)。

●ベーシックコースにあつては、経済学あるいは地域政策の専門知識を活かし(DP1)、高度専門職業人として社会に貢献できる(DP2)。

※修了に必要な要件：32単位以上(内、演習8単位)の単位修得、かつ一定の研究成果(修士論文または課題研究レポート)の提出が必要。

II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

[教育課程編成の方針]

研究、税理士養成、ベーシックのいずれのコースにおいても、学生が目指す職業や研究の目的に即して、専門知識を効率的に学べるように、経済学基礎、理論、歴史、政策、統計・計量・情報、国際経済、法律、語学・文献調査、経済調査実習、地域調査実習の諸領域をカバーするカリキュラムを提供します。また、それら専門知識を基礎とし、指導教員による、入学から修了までの一貫した論文指導を通じて、質の高い修士論文等に結実するよう教育課程を編成しています。

[教育課程実施の方針]

授業科目は少人数で履修できる体制を整えます。演習科目では、基本的な研究方法から個々の学生の研究テーマの設定ならびに論文執筆まで、マンツーマンのきめ細かな指導を行います。2年次生は、それまでの研究成果を秋学期に開催される「中間報告会」において発表する機会をもち、研究指導教員以外の教員からも助言を受けます。

[教育評価の方針]

修得すべき知識、技能、能力に関しては、修士論文また課題研究レポートの研究成果の審査により評価します。

III アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

[求める大学院生像]

●研究コースにあつては、経済学の理論と応用に関する研究を行い、博士後期課程へ進学して自立した研究者となることに強い意欲を持った人を求めています。

●税理士養成コースにあつては、経済学を基礎としながら、財政学や税法の理論と応用を研究し、広い視野と深い洞察力を身につけた税理士となることに強い意欲を持った人を求めています。

●ベーシックコースにあつては、経済学の理論と応用あるいは国内外の地域政策の理論と応用を研究・調査し、専門知識を活かした高度専門職業人志望者や生涯学習に強い意欲を持った人を求めています。

[求める能力・知識と判定方法]

経済分野における課題に対して論理的に考察し、自身の考えを口頭と文章によつて的確に表現する思考力

と表現力を求めています。

以上の思考力と表現力に加え、研究コースにあつては、志望する指導教員が求める専門知識と外国語能力が求められます。税理士養成コースにおいては、財政学や税法の専門知識が求められます。

入学希望者が持つそれら能力や知識の水準の判定は、専門科目、外国語、小論文などの筆記試験と、研究計画書に基づく口頭試験により行います。

博士後期課程

I ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

修了に必要な要件(※)を満たし、博士論文の審査および最終試験に合格し、経済学あるいは地域政策の最高度の専門知識を備え(DP1)、研究者として自立して活動できる研究能力を体得し(DP2)、自らが有する学識を教授する能力を有した者に(DP3)、博士(経済学)の学位を授与します。

※修了に必要な要件：

課程博士(甲)の場合、20単位以上(内、演習12単位)の単位修得、かつ博士論文の提出が必要。

論文博士(乙)の場合、博士論文の提出に加え、提出論文が公刊されていること(または1年以内に公刊予定であること)が必要。

II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

[教育課程編成の方針]

博士後期課程(博士課程)では、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識とその学識を教授する能力を養うことを目指し、理論、歴史、政策、地域、統計、国際経済、法律、文献研究の諸領域をカバーするカリキュラムを提供します。また、それら専門知識を基礎とし、指導教員による、入学から修了までの一貫した論文指導を通じて、質の高い博士論文等に結実するよう教育課程を編成しています。

[教育課程実施の方針]

授業科目は少人数で履修できる体制を整えます。演習科目では、基本的な研究方法から個々の学生の研究テーマの設定ならびに論文執筆まで、マンツーマンのきめ細かな指導を行います。また、博士論文の内容に関連のある論文報告会を、適宜行い研究指導教員以外の教員からも助言を受けます。

[教育評価の方針]

修得すべき知識、技能、能力に関しては、博士論文の審査、および、公刊論文やWorking Paper (Discussion Paper) の刊行、学会報告等による研究成果の公表により評価します。

III アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

[求める大学院生像]

前期課程での研究を土台として、経済学の理論と応用に関するさらに深い研究を通じて独自の研究成果を生み出し、博士学位を取得することに強い意欲を持った人を求めています。

[求める能力・知識と判定方法]

経済学に関する総合的かつ高度な知識と、専門分野における優れた問題発見、分析などの研究能力および論文作成能力を求めています。

入学希望者が持つそれら能力や知識の水準の判定は、専攻分野に関する論文(修士論文を含む)に基づく口頭試験により行います。

1. 募集人員・入試日程

経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程 [10名]

経済学研究科 経済学専攻 博士後期課程 [5名]

時期	出願期間 ※1・検定料納付期間 ※2	試験日	合格発表日
秋季	2022年8月17日(水)～8月24日(水)	2022年9月17日(土)	2022年9月28日(水) 10:00
春季	2023年1月5日(木)～1月12日(木)	2023年2月18日(土)	2023年3月2日(木) 10:00 ※3

募集人員は、2023年度入学の全入試制度を合計したもの

※1 出願期間：締切日消印有効（日本国内便に限る）

※2 検定料納付期間：期間内本学口座必着

※3 飛び級入試は、1次試験合格者発表日

2. 時間割・配点

※免除対象の場合を除き、試験科目のうちいずれか1つでも受験しなかった場合は、合否判定の対象となりません。

※受験科目数に応じ、総点を調整して判定します。

博士前期課程

入試種別	試験科目	試験時間	配点
一般入試 飛び級入試(1次試験)	専門科目	9:30～10:30 (60分)	100点
	外国語または小論文	10:50～11:50 (60分)	100点
	口頭試問	9:30～または13:30～	100点
学内特別入試 外国人留学生入試	専門科目または小論文	10:50～11:50 (60分)	100点
	口頭試問	9:30～または13:30～	100点
社会人入試	口頭試問	9:30～または13:30～	100点

※飛び級入試の第1次試験合格者に対し書類審査を行います。

博士後期課程

入試種別	試験科目	試験時間	配点
一般入試	外国語	9:30～11:30 (120分)	100点
	口頭試問	口頭試問のみ 10:00～ 筆記試験受験者 13:30～	100点
社会人入試 外国人留学生入試	口頭試問	10:00～	100点

3. 試験場

本学 大隅キャンパス 試験会場は当日掲示します。

4. 出願

(1) 出願方法

出願は**郵送のみ**受付します。出願書類の持ち込みは受付できません。所定の封筒を使用、もしくは市販の封筒の表に「大学院出願書類在中」と朱記のうえ、提出書類一式をすべて揃え、下記の宛先まで「**速達 簡易書留**」で送付してください。

【出願書類送付先】 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学 入試部 宛

(2) 出願書類 出願書類は入試種別によって異なります。

○：提出必須 △：該当者のみ提出要

	提出書類	注 意 事 項	博士前期				博士後期		
			一般、 飛び級 (春季のみ)	学内 特別	社会人	留学生	一般	社会人	留学生
1	志願票(注)	本学所定のもの 必要に応じ、裏面も忘れずに記入すること	○	○	○	○	○	○	○
2	写真票	本学所定のもの 出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽のものを4cm×3cm の大きさに切り、裏面に氏名を記入し写真票に貼付してくだ さい。入学が許可された場合、この写真を学生証や教務情報 等に使用します。	○	○	○	○	○	○	○
3	成績・単位修得 証明書(学部)	出身大学が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。	○	○	○	○			
	卒業(見込)証明書 (学部)	出身大学が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。 (飛び級入試志願者は、3年次在学証明書)	○	○	○	○			
4	成績・単位修得 証明書(修士課程)	出身大学院が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。					○	○	○
	修士学位取得 (見込)証明書	出身大学院が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。					○	○	○
5	研究計画書(注)	本学所定の用紙(手書不可、日本語で作成すること) ※外国人留学生入試出願者のみ英語も可とする	○	○	○	○	○	○	○
6	資格証明書の写し	試験科目の免除を希望する場合または学内特別入試の出願資格 (4)(b)で出願する場合に提出すること	△	△		△	△		
7	日本語能力を証 明する証明書	下記のいずれかを提出すること (日本の4年制大学卒業(見込)生は不要) ①日本語能力試験、日本留学試験(日本語)、日本語検定、実用日本語検定のいずれか の成績通知書(証明書)または認定書のコピー(2020年4月以降に受験したもの) ②日本語能力認定書(本学所定の用紙。日本語学校等の機関において日本語 能力に関する証明を受けたもの)				○			
8	推薦書	学内特別入試に出願する場合、本学所定の用紙で提出すること		○					
9	職務経歴書	本学所定の用紙(手書不可、日本語で作成すること)			○			○	
10	教員免許状 (一種)	専修免許状取得希望者のみ 専修免許の取得を希望する科目の一種免許状のコピーもしくは は取得見込証明書を提出してください。	△	△	△	△			
11	住民票の写し (コピー不可)	日本に在住している外国人は提出してください。 在留資格、在留期間、在留カードの番号の記載のあるもの。 出願前1年以内に発行されたもので、出願時の情報が正しく 記載されたものに限りします。	△	△	△	○	△	△	○
12	在留カードの 両面コピー	日本に在住している外国人は提出してください。裏面に記載 がない場合も、必ず両面のコピーを提出してください。	△	△	△	○	△	△	○
13	大学院個別入学資格審 査認定通知書のコピー	大学院個別入学資格審査により出願を許可された方は、本学 から送付した通知書のコピーを提出してください。	△		△	△	△	△	△
14	論文および要旨	専門分野に関する論文(修士論文を含む)またはその写しおよび 日本語による同論文の要旨(4,000字程度)を提出してください。 合格発表後、郵送にて返却します。					○	○	○

(注) 出願時に指導教員を選択する際は、下記本学入試情報サイトの「入試情報▶大学院入試」から、経済学研究科
の「入試ガイドライン」で最新の情報を確認したうえで記入してください。

本学入試情報サイト <https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>

※3、4について

- ・ 本学卒業・修了(見込)生は入学金が免除されますので、本学卒業・修了(見込)証明書を出願時に提出してください。
- ・ 出願時に本学大学院研究生として在籍している者は、提出を免除します。
- ・ 日本語・英語・中国語以外の言語で記載されている場合は、各々の日本語訳もしくは英語訳を添付してください。
- ・ 卒業後に校名変更などがあった場合、その事実がわかる資料を添付してください。

※5・7-②・8・9の本学所定の書類は、本学入試情報サイトの「入試情報▶大学院入試」からダウンロードして
ください。

※提出書類で原本が1部しかなく、再取得が不可能な場合は、原本から正しく複製されたもの(certified copy)で
あることの証明を受けた後、提出してください。

※個別入学資格審査により出願を許可された者は「通知書」の記載事項を確認してください。また「通知書」のコピーを出願書類に同封してください。

★中国の大学を卒業した場合

「卒業証明書」および「成績証明書」を提出する代わりに、中国教育部のホームページ (<https://www.chsi.com.cn/>) または、CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証報告書」「成績認証報告書」による提出も認めます。発行には一定時間を要しますので、十分な時間の余裕を持って申し込んでください。

(3) 検定料 35,000 円 (いったん納付された検定料は、返還いたしません。)

納付方法

①検定料の納入は、本学所定の振込依頼書(志願票と一連)を使用し、金融機関窓口で手続きしてください。(ATMおよびインターネットによる振込みならびに郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。また、農協等で一部取り扱いえない所もあります。)

※三井住友銀行(本・支店)窓口で振込む場合は、振込手数料が**無料**となります。

②検定料振込後、志願票・写真票・領収書を受け取り、所定の欄に取扱銀行収納印が押印されているか確認してください。

③領収書は切り離して各自が保管してください。

④やむを得ずATMで振込む場合は、次の4点を承諾のうえ、手続きしてください。

●振込手数料は振込者の負担となります。

●振込依頼人名欄には「整理番号(志願票に記載)」に続けて「志願者本人名」を入力してください。

●「利用明細書のコピー」を、出願書類に同封してください(原本は本人保管)。

●納付期間内に本学口座必着のこと。

※海外からの送金について(期間内本学口座必着)

海外から送金する場合は、日本における銀行の手数料を加算して、下記の口座に**日本円**で35,000円(検定料)が入金されるように送金してください。金額に不足があれば受理できません。送金小切手は取り扱いできません。

Bank	SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
Branch	TENROKU BRANCH
Branch Address	6-4-20, Tenjimbashi, Kita-ku, Osaka-shi, Osaka, 530-0041, Japan
Account Name	OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS
Account Number	286800
Swift Code	SMBC JP JT

受取人宛通知事項には、志願者氏名を必ず記入してください。

Please make sure to write the applicant's name in the Message to Payee field.

(4) 出願時の注意事項

- (1) 書類に不備があり、出願期間内に提出が間に合わない場合は受理できません。
- (2) 本学が指定する出願書類のみを提出してください。その他の書類を提出されても、可否判定の対象とはなりませんので、本学で処分します。予めご了承ください。
- (3) 記載内容に虚偽の内容がある場合は、入学を取り消すことがあります。
- (4) 受験票は、志願者数が確定し、準備が整い次第、本学から志願票に記載されている連絡先に発送いたします。試験日の前日までに受験票が届かない場合は入試部までお問い合わせください。
- (5) 出願後、連絡先の変更がある場合は、すみやかに入試部まで連絡してください。
- (6) 試験終了後の受験票未着に対するお問い合わせには一切応じません。
- (7) 出願書類に関する不明な点は、必ず出願期間前にお問い合わせください。
- (8) 旧姓で発行された証明書がある場合は、志願票の旧姓欄にも記入してください。
- (9) 国内外を問わず他大学院等に在籍し同時に本学研究科に在籍する、いわゆる二重学籍はできません。

受験および就学上の配慮について

疾病・負傷や身体機能等の障がいのため、受験時および入学後の就学に配慮を必要とされる場合は、原則として**出願する1ヶ月前までに**入試部へご相談ください。申請書(本学書式)と診断書を提出いただき、記載内容と障がい等の程度に応じて配慮内容を決定し通知いたします。

なお、事前に施設や配慮内容等の確認が必要な場合、本学にお越しいただくことがありますので、ご承知おきください。また、出願後の不慮の事故等による負傷・急な疾病等で受験時に配慮を必要とする場合は至急、入試部までお申し出ください。

個別入学資格審査について

制度の概要

本学大学院において、**日本の大学を卒業した者**(博士後期を希望する場合は、**修士の学位または専門職学位を有する者**)と同等以上の学力があるかどうかを認定する審査です。認定された者は本学大学院に出願することができます。

対 象 者

＜博士前期課程＞ 一般入試、社会人入試における出願資格(1)～(8)または、外国人留学生入試における出願資格(1)・(2)に記載された要件に該当しない者で、2023年4月1日までに22歳に達する者

＜博士後期課程＞ 一般入試、社会人入試における出願資格(1)～(5)または、外国人留学生入試における出願資格(1)・(2)に記載された要件に該当しない者で、2023年4月1日までに24歳(社会人入試希望の場合は30歳)に達する者

申 請 期 間

【秋季】2022年7月1日(金)～7月8日(金) [締切日必着]

【春季】2022年11月18日(金)～11月25日(金) [締切日必着]

※必要に応じ面接を課す場合があります。

提 出 書 類

①～④は、所定の用紙を下記の本学入試情報サイトの「入試情報▶大学院入試」からダウンロードしてください。<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>

- ① 個別入学資格審査 申請書
- ② 個別入学資格審査 自己推薦書
- ③ 個別入学資格審査 志望理由書
- ④ 個別入学資格審査 研究計画書
- ⑤ 最終学校成績証明書および卒業証明書【原本】(申請時の情報が正しく記載されたものに限りします。
 - ・申請時に本学大学院研究生として在籍している者は、提出を免除します。
 - ・日本語・英語・中国語以外の言語で記載されている場合には、各々の日本語訳もしくは英語訳を添付してください。
 - ・卒業後に校名変更などがあった場合は、その事実が分かる資料を添付してください。
 - ・提出書類の原本が1部しかなく、再取得が不可能な場合は、原本から正しく複製されたもの(certified copy)であることの証明を受けたものを提出してください。
 - ・中国の大学を卒業した場合、中国教育部のホームページ(<https://www.chsi.com.cn/>)または、CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証報告書」「成績認証報告書」による提出も認めます。発行には一定時間を要しますので、十分な時間の余裕を持って申し込んでください。
- ⑥ 返信用封筒(市販の長形3号封筒の宛先に返信先住所を記入し、344円分の切手*を貼ってください。
※郵便料金が改定された場合は【封書定形料金(25g以内) + 速達料金】

申 請 方 法

市販の封筒を使用し、提出書類一式をすべて揃え、「速達 簡易書留」で下記宛先まで郵送してください。

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学 入試部 宛

5. 選 考

博士前期課程

一 般 入 試

出 願 資 格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 日本の大学を卒業した者、または2023年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程*を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
※本学では高等教育自学考试は16年の課程に含めません。個別入学資格審査で認定を受けてください。
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
- (7) 旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）、または2023年3月までに修了見込みの者
- (9) 本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
※ (9) の条件で出願する者は、p.5「個別入学資格審査について」をご覧ください。

試 験 科 目

<研究コース>

試験科目	受験科目等
専門科目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく ※必要な科目を志願票に記入すること
外国語	※英語受験者には、英和辞典を試験当日に貸与します
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

<税理士養成コース>

試験科目	受験科目等
専門科目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく ※受験する科目を志願票に記入すること なお、税理士試験科目1科目以上合格の場合は免除する。 ◆免除を希望する場合は、合格証明書の写しを出願時に提出すること
小論文	財政学または税制に関する時事問題を出題します
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

<ベーシックコース>

試験科目	受験科目等
小論文	時事問題を出題します
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

ベーシックコースは、入学後指導教員による演習を受講し課題研究レポートを提出する必要があります。（原則として本コースから博士後期課程への進学はできません。博士後期課程への進学を希望する場合は、入学後1年以上経過したのちに指導教員の承諾を得て研究コースにコースを変更すると共に修士論文を執筆する必要があります）

学内特別入試

出願資格

次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている者。

- (1) 本学4年次(7セメスター以上)に在籍し、2023年3月までに卒業見込みの者
- (2) 3年次(6セメスター)修了までに、卒業必要単位100単位以上(外国語については卒業に必要な単位をすべて修得していること)を修得済みの者(注1)
- (3) 演習担当教員またはそれに準ずる教員から推薦された者
- (4) 下記(a)(b)いずれか一つを満たしている者
 - (a) (2)の卒業必要単位のうち、高得点の科目順に100単位を選び、その平均点が80点以上であること(注2)
 - (b) 下記のア～ケのうち、いずれか一つに該当する者
 - ア. 税理士試験の1科目以上合格者
 - イ. 日本商工会議所簿記検定1級合格者
 - ウ. 法学検定2級以上合格者
 - エ. ビジネス実務法務検定2級以上合格者
 - オ. 実用英語技能検定準1級以上合格者
 - カ. 国際連合公用語英語検定試験B級以上合格者
 - キ. TOEIC (Test of English for International Communication) のスコアが600点以上の者
 - ク. TOEFL (Test of English as a Foreign Language) のスコアがiBT 61点 (PBT 500点、CBT 173点) 以上の者
 - ケ. 経済学検定試験「ERE」または「EREミクロ・マクロ」の成績がB+以上の者

※キ・ク・ケはいずれも2020年4月以降に受験したもの

(注1) 「卒業必要単位100単位」には、編入学等のため含めないと到達できない場合に限り、単位認定科目を含めることができます。

(注2) 平均点算出の際は単位認定科目を除きます。

試験科目

<研究コース>

試験科目	受験科目等
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

<税理士養成コース>

試験科目	受験科目等
小論文	財政学または税制に関する時事問題を出題します
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

飛び級入試（春季のみ）

出願資格

次の(1)(2)の条件をすべて満たしている者。

- (1) 学部3年次（本学学部生は6セメスター）に在籍している者。ただし、休学期間は在学期間に含まれません。また、在学留学制度により他大学に在学した期間は在学期間とみなします。
- (2) 2年次（本学学部生は4セメスター）修了時に、所属する大学の学部における「卒業に必要な最低修得単位数」の6割以上を修得し、かつその平均点が85点以上またはその85%以上が「優」の評価を得ていること

※編入学等のため修得単位が「卒業に必要な最低修得単位数」の6割に満たない場合に限り単位認定科目を含めることができます。その場合、平均点および割合は、その科目を除いて算出します。

試験科目

【第1次試験】

<研究コース>

試験科目	受験科目等
専門科目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく ※必要な科目を志願票に記入すること
外国語	※英語受験者には、英和辞典を試験当日に貸与します
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

<税理士養成コース>

試験科目	受験科目等
専門科目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく ※受験する科目を志願票に記入すること なお、税理士試験科目1科目以上合格の場合は免除する。 ◆免除を希望する場合は、合格証明書の写しを出願時に提出すること
小論文	財政学または税制に関する時事問題を出題します
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

【第1次試験合格発表：2023年3月2日（木）】

【第2次試験】

第1次試験合格者に対し書類審査を行います。

3年次（本学学部生は6セメスター）修了時に、在学する大学の所属学部における「卒業に必要な最低修得単位数」の9割以上を修得し（外国語については卒業に必要な単位をすべて修得していること）かつ、成績が優秀である者を最終合格者とします。

【最終（第2次試験）合格発表 ⇒ P.14参照】

注意事項

合格者は、2023年3月31日までに所属する大学の退学手続きを執ってください。また、大学は「中途退学」となりますので、大学卒業を要件としている資格試験等を受験できない場合があります。

社会人入試

出願資格

次の各項のいずれかに該当し、社会人(有職者)としての実務経験が大学院入学時において2年以上の者。ただし、専修免許状取得志望者については、以下の条件のほか、中学校「社会」、高等学校「地理歴史、公民、商業」いずれかの一種免許状を所持していることが必要です。

- (1) 日本の大学を卒業した者、または2023年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程*を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
※本学では高等教育自学考试は16年の課程に含めません。個別入学資格審査で認定を受けてください。
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
- (7) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)、または2023年3月までに修了見込みの者
- (9) 本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
※(9)の条件で出願する者は、p.5「個別入学資格審査について」をご覧ください。

試験科目

<研究コース>

<ベーシックコース>

試験科目	受験科目等
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書および職務経歴書に基づき行います

ベーシックコースは、入学後指導教員による演習を受講し課題研究レポートを提出する必要があります。(原則として本コースから博士後期課程への進学はできません。博士後期課程への進学を希望する場合は、入学後1年以上経過したのちに指導教員の承諾を得て研究コースにコースを変更すると共に修士論文を執筆する必要があります)

外国人留学生入試

本学大学院外国人留学生入試の出願に際しては、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を取得または更新できることが条件です。

出願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)の(a)(b)(c)のいずれかを提出できる者。

- (1) 外国において学校教育における16年の課程*を修了した者、または2023年3月までに修了見込みの者
※本学では高等教育自学考试は16年の課程に含めません。個別入学資格審査で認定を受けてください。
- (2) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者、または2023年3月までに卒業見込みの者
- (3) 本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
※(3)の条件で出願する者は、p.5「個別入学資格審査について」をご覧ください。
- (4) (a) 日本の4年制大学の卒業証明書または卒業見込証明書
(b) 2020年4月以降に受験した日本語能力試験、日本留学試験(日本語)、日本語検定、実用日本語検定のいずれかの成績通知書(証明書)または認定書のコピー
(c) 本学所定の日本語能力認定書に日本語学校等の機関で志願者の日本語能力に関する証明を受けたもの

試験科目

<研究コース>

試験科目	受験科目等
専門科目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく ※必要な科目を志願票に記入すること
口頭試問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

博士後期課程

※早期修了については、p.12をご参照ください。

一般入試

出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
 - (7) 本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
- ※ (6) または (7) の条件で出願する者は、p.5「個別入学資格審査について」をご覧ください。

試験科目

試験科目	受験科目等
外国語	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく ※必要な科目を志願票に記入すること ※英和辞典使用不可
口頭試問	専攻分野に関する論文（修士論文を含む）に基づき行います

外国人留学生入試

本学大学院外国人留学生入試の出願に際しては、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を取得または更新できることが条件です。

出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (2) 外国人留学生として日本の大学院において、修士の学位や専門職学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
 - (3) 本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
- ※ (3) の条件で出願する者は、p.5「個別入学資格審査について」をご覧ください。

試験科目

試験科目	受験科目等
口頭試問	専攻分野に関する論文（修士論文を含む）に基づき行います

社会人入試

出願資格

入学時満30歳以上であり、以下の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2023年3月までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者
- (7) 本学大学院において、個別入学資格審査により認めた者

※ (6) または (7) の条件で出願する者は、p.5「個別入学資格審査について」をご覧ください。

試験科目

試験科目	受験科目等
口頭試問	専攻分野に関する論文（修士論文を含む）に基づき行います

博士後期課程 早期修了について

博士後期課程の標準修業年限は3年ですが、特に優れた研究業績を既に有する場合は、在学期間を最短1年で博士号（課程博士）を取得できる場合があります。

（ただし、博士前期課程もしくは修士課程を2年未満で修了した場合など、最短が1年ではない場合があります）

この制度の利用を前提に受験を希望する志願者は、一般入試、外国人留学生入試、社会人入試とも出願する前に、指導を希望する教員に必ず連絡を取った上で相談してください。

6. 受験上の注意

- (1) 受験票は必ず持参してください。
- (2) 筆記試験時間中に机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル可）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（計時機能だけのもの）です。これら以外の所持品はかばんに入れて足元に置いてください。
- (3) 試験開始時刻の20分前までに試験室へ入室してください。
- (4) 試験室では指定された席につき、受験票は受験番号札の手前に提示してください。
- (5) 筆記試験は、試験開始時刻より1時限目は30分、2時限目は10分以上遅刻した場合は受験できません。
- (6) 試験時間中の途中退出は認めません。
- (7) 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の通信機器や音の出る機器の使用は禁止します。これらを時計として使用することはできません。試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切ってかばんに入れておいてください。
- (8) 時計の使用は計時機能のみのものに限り、時報、アラーム等音の出る設定は解除しておいてください。計時以外の機能のついたものや機能の有無が判別しづらいもの、また音の出るものやストップウォッチ、キッチンタイマー等の場合は、試験終了まで入試本部で保管することがあります。
- (9) 緊急（気象警報発令や交通機関運休等）時の対応については、本学入試情報サイト (<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/>) で発表します。

7. 志願票記入見本および注意事項

黒色ボールペンではっきりと記入してください(消せるボールペンの使用は不可)。

【表面】

出願する課程・入試区分を○で囲んでください。

【外国人留学生】
「留学」の在留資格を取得または更新できることが必要です。

受験票や可否通知等を郵送する際の宛先を記入してください。

入試要項の指示にしたがって受験する試験科目を記入してください。

2023年度 4月入学 大阪経済大学 大学院
経済学研究科 入学試験 志願票

出願する課程(○で囲む)
博士前期課程
博士後期課程
志願するコース(○で囲む)
博士前期課程のみ
I. 研究コース
II. 税理士養成コース
III. ベーシックコース

出願する入試区分(○で囲む)
一般入試
学内特別入試
社会人入試
飛び級入試(春季のみ)
外国人留学生入試

氏名
フリガナ
(日本語の読み方)
氏名
(留学生は母国語で記入)
パスポート記載のアルファベット表記(留学生のみ)
在留資格(留学生のみ)

性別(○で囲む)
男・女
生年月日(西暦)
年 月 日
国籍(留学生のみ)

在留期間満了日(留学生のみ)
年 月 日
在留期間更新中の場合は右に記入

連絡先
フリガナ
現住所
メールアドレス

出願資格
西暦 年 月 大学・学校 学部 学科・科
3年次在籍卒業見込
修了見込
修了

受験する試験科目
注1
注2
注3
第1志望
第2志望(ベーシックコースのみ)
第3志望(ベーシックコースのみ)

志望する指導教員名

整理番号

受験番号

性 別

在留カードおよび住民票の写しに記載されている在留期間満了日を記入してください。

合格者発表までに在留期間満了日を迎える予定で、現在、在留期間更新中の場合は、✓(チェック)を入れてください。

入試要項の指示にしたがって志望する指導教員名を記入してください。

領収書は切り離して各自が保管してください。

2023年度 4月入学 大学院
経済学研究科 入学試験
写 真 票

受験番号

氏 名

日本語の読み方(フリガナ)
氏名(留学生は母国語で記入)
パスポート記載のアルファベット表記(留学生のみ)

性 別 男・女

写真貼付欄
出願前3か月以内に撮影した正面・半身・頭部のもとの写真(縦向き)4cm×3cmの大きさに切って貼付してください。個人が特定しづらいものや不鮮明なものは使用できません。
入学が許可された場合、この写真を学生証や教務情報等に使用します。

2023年度 4月入学 大阪経済大学 大学院
入学検定料 領収書

¥35,000

志願者氏名(姓・Family Name) 氏名(First, Middle Name)

2023年度 入学検定料 電信振 振込依頼書

大阪経済大学

取扱期間厳守
秋季 2022年 8月17日 ~ 2022年 8月24日
春季 2023年 1月 5日 ~ 2023年 1月12日

依頼日 年 月 日 電信振 手数料
振込先 三井住友銀行 六六支店 普通 2:8:6:8:0:0
受取人 オオサカケイザイダイガク

金額 ¥ 3 5 0 0 0

銀行へお願い
大阪市内の数字・文字を打電してください。
整理番号、氏名(カタカナ)も打電してください。
期間内取付、ATM振込、文書振込は認めません。
三井住友銀行を、文書振込の場合は振込手数料は不要です。

TEL

【裏面】 表面 注1に該当する場合は必ず記入してください。

小学校から最終出身学校までの学歴を時系列に詳しく記入してください。

博士前期課程 表面 注1に該当する場合は、以下に記入してください。

学 歴	学 校 名	所 在 地	標準修業年限	入学年月	卒業(修了)年月
小 学 校				年 月	年 月
中 学 校				年 月	年 月
高 等 学 校				年 月	年 月
大 学	学校名(英文:)		年	年 月	卒業
	学部(英文:)	【学位取得】			
	専攻(英文:)	年 月			
小学校から大学までを通算した学校教育修学年数					
大 学 院	学校名(英文:)		年	年 月	【修了】
	研究科(英文:)	【学位取得】			
	専攻(英文:)	年 月			
そ の 他 (専門学校等)	学校名(英文:)		年	年 月	年 月
	専攻(英文:)				

16年に満たない場合、個別入学資格審査で認定を受けてください。

8. 合格発表

秋 季	2022年 9 月28日 (水) 10 : 00
春 季	2023年 3 月 2 日 (木) 10 : 00
飛び級入試 (春季のみ)	第1次試験 2023年 3 月 2 日 (木) 10 : 00 第2次試験 2023年 3 月11日 (土) ※郵送のみ

※通知書は合格・不合格いずれの場合も合格発表当日に、志願票に記載された連絡先へ速達便で発送します。お住いの地域によっては到着に日数がかかる場合があります。

※本学入試情報サイト (<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/>) に合格者の受験番号を発表します (合格発表日時より 2 日間)。

※学内での掲示は行いません。なお、可否に関する電話等での問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

合格者は次の (1) (2) の入学手続をしてください。入学手続を完了した者に入学を許可します。

(1) 入学金、学費および諸会費 (委託徴収金) の納付 (期間内本学口座必着)

入学金、学費および諸会費 (委託徴収金) をそれぞれの納付期間内に納付してください。

納付期間	秋 季	2022年 9 月28日 (水) ～ 10月24日 (月)
	春 季	2023年 3 月 2 日 (木) ～ 3 月22日 (水)
	飛び級入試 (春季のみ)	2023年 3 月13日 (月) ～ 3 月22日 (水)

※入学時納付金納付後の入学辞退については、2023年 3 月31日まで (消印有効) に本学所定の手続きを行った者に限り、入学金を除く納付金を返還します。

(2) 書類の提出

- ・合格者には、合格通知書および入学に必要な書類を送付します。記載事項に従って指定された期日 (2023年 3 月22日) までに提出してください。
- ・合格者で入学手続をしていたとしても、2023年 3 月31日までに卒業 (修了) できない者は、入学を取り消します。
- ・受験時に卒業 (修了) 見込の条件で入学を許可された者は、卒業 (修了) 証明書の提出が必要です。
- ・外国人留学生入試合格者は、入学に際しては身元保証書 (※) が必要になります。

※身元保証人

- ・出願時に身元保証人は必要ありませんが、入学手続時には必要となります。
- ・身元保証人は、原則として独立して生計を営む者で、優先順位は次のとおりです。

- ① 日本に在住する親又はその他の親族
- ② 日本に在住しない親又はその他の親族
- ③ ①、②ともにいない場合に限り、日本に在住する知人等

* 身元保証人は、入学手続時に身元保証書及び住民票の提出が必要です。身元保証人が日本国内に在住していない場合は、保証人の住所、氏名が記載された公的機関が発行する証明書が必要です (例：中国の場合…居民戸口簿)。

* 日本在住の身元保証人を得られず、本国在住の父母を保証人にする場合は、緊急時の連絡先として、本国の父母に連絡することができる日本在住の連絡人が必要です。

〔日本在住の連絡人について〕

- ・出願時に連絡人は必要ありませんが、入学手続時には必要となります。
- (1) 連絡人は、在学中、留学生本人に諸問題が発生した場合は、大学と連絡を取り合うこと。
- (2) 連絡人は、大学から要請がある場合には、留学生本人への連絡等適切に対応すること。

* 連絡人は、日本に在住する兄弟姉妹、配偶者又はその他の親族、友人、知人等で、日本語能力が十分あり、社会人として独立して生計を営む者。

* 留学生および学生は、保証人、連絡人になれません。

10. 入学金・学費および諸会費（委託徴収金）

（単位：円）

		年 額	春 学 期	秋 学 期
入 学 金		200,000	200,000	—
学 費	授 業 料	530,000	265,000	265,000
	施 設 設 備 資 金	140,000	70,000	70,000
	計	670,000	335,000	335,000
諸 会 費 (委託徴収金)	大 阪 経 大 学 会 費	1,000	1,000	—
合 計		871,000	536,000	335,000

- (1) 本学卒業生、本学大学院修了生および飛び級入試合格者で本学3年次在籍者が入学する場合は、入学金が免除されます。
- (2) 私費外国人留学生には授業料減免を願い出ることができる制度があります（認定基準があります）。詳細は、国際部国際交流課へお問い合わせください。

11. 奨学金制度

● 大学院経済学研究科奨学金

対 象 者：社会人入試を除く全学生

給 付 額：年間授業料相当額

採用選考：奨学金統一試験の成績に基づき選考（春季入試後に実施）

担 当：学生部 奨学金係（TEL 06-6328-2431〔代表〕）

12. 志願者の個人情報保護について

出願における同意事項について

◆大阪経済大学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、出願に際し志願者から提供された個人情報を用意を以下のように利用し、適切に管理いたします。

- (1) 入学試験実施に係わる連絡
- (2) 該当者への合否通知並びに入学手続きのための資料発送
- (3) 学生生活を開始するにあたり大学が必要と判断した事項に関する情報提供
- (4) 教育改善のための調査・研究、および個人を特定しない入試統計データ

ただし、上記の一部について、大学の指定した業者に委託することがあります。この場合も、大阪経済大学と同様、個人情報保護に十分な体制を整えた委託会社を選定し、上記以外の目的には利用いたしません。

◆以下は、志願票の氏名欄への記入をもって「同意した」とものとします。

- (1) 志願票提出に際し、記入不備または本学では判断できない状況があり、著しく本人が不利益を被ると予想され、本人に連絡がつかない時に、本人に通知することなく出身学校等に連絡をとること
- (2) 今後の入試制度の展開のため、志願者が本学に提供した情報を、個人を特定できない形にして、事前に通知することなく、本学の判断により利用すること

13. 入試情報開示について

◆本学では受験者本人（代理人不可）から請求があれば、すべての試験方式（当該年度分に限る）を対象に入試成績を開示します。

(1) 申請資格

受験者本人に限ります（代理人による申請は受け付けません）。

(2) 開示対象

2023年度のすべての入試

※過年度（2022年度以前）の入試成績の開示は行いません。

(3) 開示内容

①科目別の得点、および総点

②合格最低点

(4) 開示方法

開示請求があったものについて、2週間以内に郵送で成績開示書を交付します。

(5) 申請受付

申請期間：2023年4月3日（月）～4月28日（金）

申請方法：入試部窓口へ持参または郵送【締切日消印有効】

窓口受付は、原則として平日9：00～17：00（窓口休業日を除く）

(6) 申請に必要な書類

①入学試験成績開示申請書

本学所定様式（本学のホームページよりダウンロードしてください）

②本学入学試験の受験票＜コピーは不可＞

受験票を紛失した場合は、受け付けることができません。

お預かりした受験票は成績開示書を送付する際に同封します。

③404円分切手

※返信用として、【封書定形料金（25g以内）＋簡易書留料金】分の切手を用意してください。

④受験者本人であることを証明する公的書類のコピー（学生証・健康保険証・免許証・住民票の写し等）

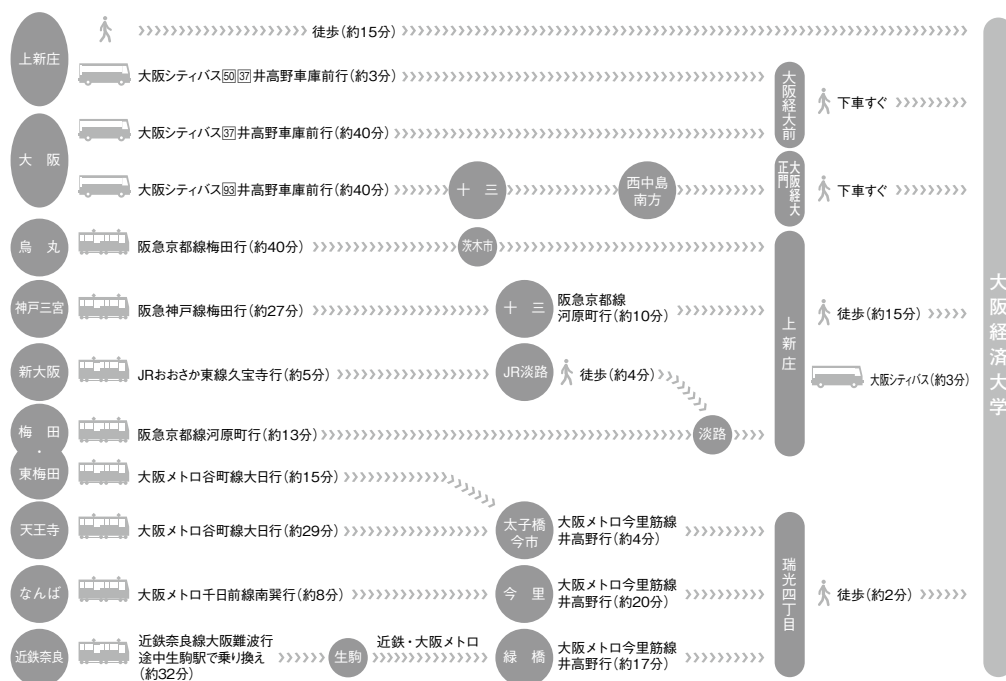
〔書類送付先・問合せ先〕

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

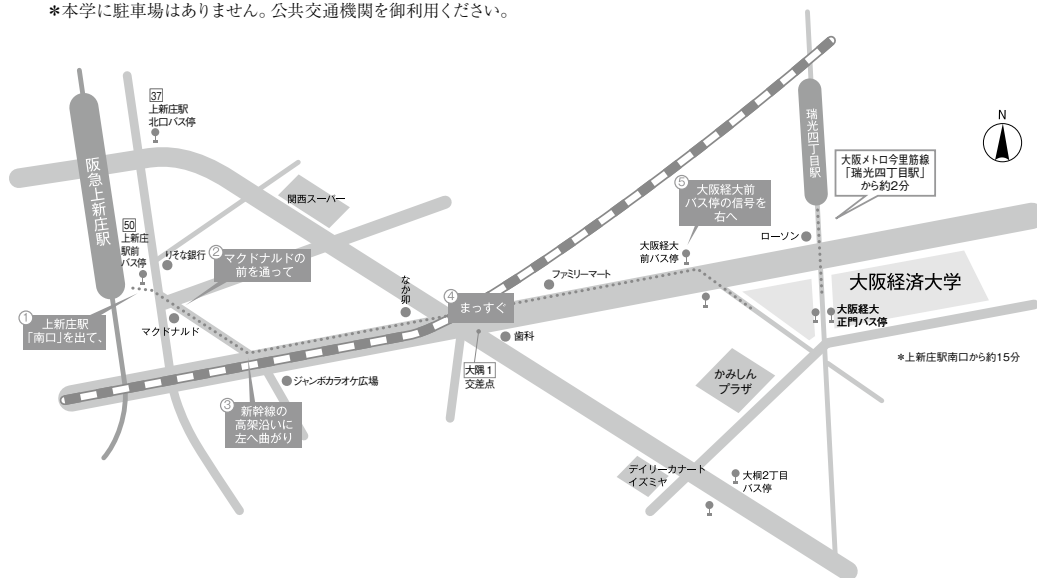
大阪経済大学 入試部

TEL 06-6328-2431（代表）

本学への道順



- *乗り換えの時間は含んでいません。
- *実際にお越しになる際は、事前にご自身でもお調べください。
- *本学に駐車場はありません。公共交通機関を御利用ください。



〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8
TEL 06-6328-2431(代表)
TEL 06-6328-2003(入試部直通)
<https://www.osaka-ue.ac.jp/>